

ニュース

海外子女の作品が入賞―第
二十二回図書館を使った調
べる学習コンクール
(図書館振興財団)

同コンクールは、図書館利用の
促進と調べる学習の推進のため
に行われている。

募集は「調べる学習部門」と「調
べる学習指導・支援部門」で行われ
それぞれ十一万六五五一点、三三
の応募があり、総数は十一万六五
五四作品に上った。そのうち、入
賞に三十作品・三団体、優良賞に
一六〇作品、奨励賞に二九九作品
佳作に一五四〇作品が選ばれた。

海外からの入賞・優良賞・奨励
賞の受賞者は次の通り。

◆入賞(優秀賞)・海外子女教育振
興財団賞

シカゴ補習授業校

小六 坂本樹太

中二 船本唯

ブラハ日本人学校

小五 竹内彬

◆優良賞

シカゴ補習授業校

小六 長屋陽音

中一 内藤陽菜

◆奨励賞

シカゴ補習授業校

小六 窪田希果

中二 檀上琉惺

中一 丸山海渡

中三 板井玲菜

神田う衣

*詳細は図書館振興財団のホーム
ページに掲載されている。
<https://www.toshokan.or.jp>

海外子女の作品が入賞―
JICA国際協力中学生・
高校生エッセイコンテスト
二〇一九(青年海外協力協会)

同コンテストは、開発途上国の現
状や開発途上国と日本との関係に
ついて理解を深め、国際社会のなか
で日本、そして自分たち一人ひとり
がどのように行動すべきかを考え
ることを目的として実施されている。

今回で二十四回目となる中学生

の部には二万七三二〇点、五十八
回目となる高校生の部には二万八
一四一点、総数五万五四六一点の
応募があった。

海外からの受賞者および受賞校
は次の通り。

◆中学生の部・国際協力特別賞

ヤンゴン日本人学校

中二 野中優那

同・特別学校賞

大連日本人学校

ナイロビ日本人学校

リマ日本人学校

同・学校賞

アブダビ日本人学校

アムステルダム日本人学校

グアム日本人学校

スラバヤ日本人学校

蘇州日本人学校

ハノイ日本人学校

ブラッセル日本人学校

ペナン日本人学校

マニラ日本人学校

International College

Hong Kong

◆高校生の部・学校賞

早稲田渋谷シンガポール校

*詳細はJICA地球ひろばのホ
ームページに掲載されている。

[https://www.jica.go.jp/hiroba/program/
apply/essay/](https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/)

[https://www.jica.go.jp/hiroba/program/
apply/essay/](https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/)

海外子女の作品が入賞―第
六十五回青少年読書感想文
全国コンクール(全国学校図
書館協議会・毎日新聞社)

同コンクールは以下の趣旨で行

われている。

○子どもや若者が本に親しむ機会
をつくり、読書の楽しさ、素晴
しさを体験させ、読書の習慣化
をはかる。

○より深く読書し、読書の感動を
文章に表現することを通して、
豊かな人間性や考える力を育む。
さらに、自分の考えを正しい日
本語で表現する力を養う。

二万五七九校の小学校・中学
校・高等学校等から三九七万五八
九四編の応募があり、うち八十校
二七三〇編が海外の日本人学校等
からのものだった。

海外からの受賞者は次の通り。

◆毎日新聞社賞

シカゴ日本人学校

小六 廣間佑太

◆入選

上海日本人学校

小一 山崎功太郎

ロサンゼルス補習授業校

小六 カサヴァン 諒

ニュージャージー日本人学校

中二 柴田息吹

*同コンクールのホームページに

詳細が掲載されている。

<https://www.dokusyokansoubun.jp>

海外子女の作品が入賞
 第十一回日本語大賞
 (日本語検定委員会)

同大賞は、日本語の美しさやことばの持つ力を見つめ直すことを趣旨に創設された。自分の思い、感情、思考などを、読む人に伝えるために、ことばを駆使し、表現を工夫することで、自分という「人間」を知り、さらに他人との関係性、社会と自分のかかわりを知ることにつながっていくことを目的としている。

今回は一般を含めた応募総数四〇六五作品のうち小学生の部には二三四三、中学生の部には五〇九、高校生の部には一〇五一作品のエッセイ・作文が集まり、海外からのものは四〇五作品だった。海外に住む子どもの受賞は次の通り。

◆文部科学大臣賞

シアトル補習授業校

小六 川澄美紅

◆優秀賞

ダービーシャー補習授業校

高二 青木宙

イタリア在住

高二 室賀悠佑

◆佳作

シアトル補習授業校

小三 若林快

シカゴ補習授業校

中三 百崎野々子

*日本語検定委員会のホームページに詳細が掲載されている。
<https://www.nihon-gokenkei.jp/grandprize/>

海外子女の作品が入賞
 第十一回環境教育ポスター
 コンクール(公益財団法人
 こども教育支援財団)

同コンクールは、子どもたちが環境について考え、社会生活のなかでできることを考える機会を持つことで、環境への責任ある行動をとれる態度を育成することを目的として実施されている。

今回で十一回目となり、六五七六点の応募があった。

海外からの受賞者および受賞校は次の通り。

◆海外賞

〈金賞〉

グアム日本人学校

小二 メンディオラ 優馬

〈銀賞〉

キト補習授業校

中一 アンドラテナリアティ

〈銅賞〉

クアラルンプール日本人学校

小六 中村優心

〈特別賞〉

ニュージールランド在住

小六 和田夏芽

*詳細はこども教育支援財団のホームページに掲載されている。
http://www.kodomo-zaidan.net/outbusiness/career_path/poster/poster.html

お知らせ
 第47回全国研究大会開催(全海研)

全国海外子女教育国際理解教育研究協議会(全海研)は2020年度の全国大会を次のように開催する。

開催日 8月20〜22日

会場 ニューウェルシティ宮崎

(宮崎市)ほか

テーマ 「世界と子どもをひらき、つなぎ、つむぐ教育をめざして」

「ネットワークでつむぐ、明日の教育」

おもな内容

○講話・講演

○特定課題分科会

○実践事例発表会

○情報交換会

○トーキングテーブル

後援 外務省、文部科学省、海外子女教育振興財団等

詳細・申し込み

<http://www.zenkanken.jp>

第2回子ども作文コンクール募集
 要項(公益財団法人こども教育支援財団)

目的 自分にとってかけがえのない存在である「先生」について、素直な思いを表現する場を提供し、書く力、伝える力を育む機会となることを願い開催する。

募集内容 「先生」をテーマとした作文

小学1〜3年生は400〜800

0字程度、小学4年生〜中学生

は800字から1200字程度。

募集対象 小〜中学生

募集期間 2020年4月1日〜

5月29日

賞 理事長賞ほか、参加者全員に

記念品

結果発表 8月下旬

詳細・問い合わせ 応募先

公益財団法人こども教育支援財

団 東京事務局

URL http://www.kodomo-zaidan.net/outbusiness/career_path/essay/

海外で使用される教科書の無償配付について(海外子女教育振興財団)

海外滞在予定が一年以上(永住は除く)の日本国籍を持つ小・中学生は無償で教科書を受け取る事ができます。ただし、現地到着当初に使用する教科書は海外では用意されていませんので、かならず出国前に海外子女教育振興財団で受け取ってください。

その後の海外滞在中の教科書に關しては在留地管轄の在外公館(大使館・総領事館等)が配付を統括しています。現地に到着後ただちに在外公館に「在留届」を提出し、教科書受領のための手続きを行ってください。

詳細については本財団のホームページをご覧ください。
問い合わせ先

海外子女教育振興財団

情報サービスチーム

TEL 03-4330-1349

E-mail textbook@joes.or.jp

URL <http://www.joes.or.jp/kyokasho/>

新規ご入会 維持会員(1月末現在)
・リンナイ株式会社

会員を募集(全海研)

全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会(全海研)では、会員を随時募集しています。

「全海研」は在外教育施設(日本人学校等)派遣経験者で結成した唯一の全国組織です。

各都道府県組織と連携して以下の実践・研究に取り組んでいます。希望者は、どなたでも入会できます。

おもな活動

帰国子女教育の実践的課題の解決、国際理解教育と総合的な学習の単元開発と実践事例集の作成、国際理解教育ワークショップの開催、外国人子女教育(日本語教育を含む)の実践的課題の解決とネットワーク化、子どもたちのための日本語フォラーズの開催、補習校支援カリキュラムの作成(文部科学省からの委託)、海外子女教育支援ガイドブック作成など。

また次のような活動を通して海外派遣教員への応募を考慮しているあなたの心強い相談相手となっています。在外教育施設派遣登録者および内

定者研修の企画・運営・協力、講習・

研修に必要なテキストの作成、日本

人学校や補習授業校における教育実践の支援および教材開発やカリキュラム化、シニア派遣希望者推薦指定

団体として派遣期間終了後に国内で活躍されてきた人々のなかでシニア派遣を希望するかたを文部科学省に推薦するなど。

推薦するなど。

会費

【国内会員】4000円(1年間)

【在外会員】1万円(派遣期間中、ただし3年未満で帰国した場合は3年間適用)

ただし3年未満で帰国した場合は3年間適用)

会員の特典

①会報が送付されます。

②研究紀要が送付されます。

③実践、研究の成果を全国大会や地方ブロック大会、研究紀要、実践事例集で発表できます。

④海外・帰国子女教育、国際理解教育、外国人子女教育、日本語教育、補習授業校教育に関するさまざまな情報が提供されます。

⑤会報やニューズレターで最新の学会・研究会の情報が提供されます。

⑥研究事業、研修事業のプロジェクトに参加できます。

⑦シニア派遣希望者を推薦します(希望者はお申し出ください)。

入会申し込み方法

【国内から】

郵便局の郵便振込取扱票に、氏名・住所・電話番号を記入のうえ、左記宛てに年会費を振り込む(振込通知書が入会申込書となります)。

郵便口座
全国海外子女教育・国際理解教育研究協議会

00110-9-26969

【海外から】

全海研宛てのEメールに、氏名・在外派遣地を明記のうえ申し込む。会費の納入は、日本国内から送付できるかたは右記郵便口座へ。また、国内から送金できないかたは在在外地の金融機関から左記へ。

三菱UFJ銀行葛西支店

普通口座 4884720

口座名「全海研(ゼンカイケン)」

問い合わせ先

全海研事務局

TEL 03-5696-3358

FAX 03-3804-7432

E-mail info1@zenkaiken.jp

URL <http://www.zenkaiken.jp>